

ソーラーシェアリング推進連盟
&
全国小水力発電大会 2024in さいたま

地域からの再エネ革命

- 開催日：2024年11月1日
- 会場：大宮ソニックシティ 小ホール（さいたま市、大宮駅前）
- 参加費：無料

※全国小水力発電大会 2024in さいたまは、10/31・11/1の2日間開催
(参加費=資料代1,000円)

1. 基調講演 (10:00~11:00)

倉阪秀史 (千葉大学) 「地域からの再エネ革命」

2. ソーラーシェアリング事例発表 (11:10~12:00)

- 高澤 真 (ソーラーシェアリング上総鶴舞)
- 井上 保子 (株式会社宝塚すみれ発電)
- 田島 誠 (特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所)

3. パネル討論

(1) 再エネ熱利用 (13:00~14:30)

- ◎コーディネーター：馬上 丈司 (ソーラーシェアリング推進連盟共同代表理事)
- 三浦 秀一 (東北芸術工科大学教授)
- 笹田 正克 (地中熱利用促進協会)
- 松原 弘直 (環境エネルギー政策研究所)

(2) 複合的地域資源活用 (14:45~16:15)

- ◎コーディネーター：中島 大 (全国小水力利用推進協議会事務局長)
- 井上 保子 (株式会社宝塚すみれ発電)
- 蓬田 裕一 (おひさま進歩エネルギー株式会社)
- 山田 幸司 (やまがた自然エネルギー株式会社)

4. 閉会挨拶 (16:15~16:30)

全国小水力発電大会の閉会と合わせて、主催者から挨拶申し上げます。

【開催趣旨】

再エネ発電は、主力電源と位置づけられるまでに成長してきました。けれども、地球沸騰と言われるまでに高まっている気候変動危機を思えば、まだまだ導入が不十分と言わざるを得ません。また、エネルギーの用途としては熱需要が大きいにもかかわらず、再エネ熱利用はあまり進んでいるように見えません。さらに省エネの面でも、電化製品の省エネが大きく進んでいるのに対し、建築物の断熱・気密の遅れが目立ちます。

一方再エネ資源は、いやここでは基調講演の倉阪教授に敬意を表して更新性資源と呼ぶことにしましょう、更新性資源の多くは地域社会と密着した地域資源とも言えるものです。全国小水力利用推進協議会（全水協）は以前から「農業とは、更新性資源を経済価値に結びつける地域活動のことと定義すべきだ」と主張しています。

その地域エネルギー資源を地域のために活かす、という視点に立つと、太陽光とか小水力とかバイオマスと言ったエネルギー種別はあまり意味を持たなくなります。地域ごとの自然環境、社会環境に合わせて最適な活用方法を考えることが大切です。

このような考えにもとづき、全水協は2024年の全国小水力発電大会を企画するにあたって他の再エネ関連団体に共同企画を働きかけました。そしてソーラーシェアリング推進連盟（JSSR）が応じてくださり、本企画開催に至ったものです。

まず午前の部では、小水力発電関係者や一般来場者がソーラーシェアリングを理解できるよう、JSSR 理事による各地の事例紹介をセットしています。

午後の第1部では、電力を離れて再エネ熱（断熱・気密も含めて）について事例を提示いただき、普及の道筋を議論したいと思います。そして第2部で、特定のエネルギーにとらわれることなく、地域視点からの再エネ促進について考えましょう。

これら全体を通じた見方考え方は、基調講演で倉阪教授が示してくださるはずですが。

ソーラーシェアリング関係者と小水力関係者は、普段あまり接点がないかも知れません。この機会に交流を深めていただければ大変ありがたく存じます。

（全国小水力利用推進協議会事務局長中島大）

お問い合わせ先

ソーラーシェアリング推進連盟

メール：info@solar-sharing.jp <https://solar-sharing.jp/>

全国小水力利用推進協議会

Tel. 03-5980-7880 メール：taikai@jasha.jp <http://www.j-water.org>